

様式1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-ア	脱炭素島しょ社会の実現に向けたエネルギー施策の推進	施 策	②脱炭素化に向けた取組の促進
			施策の小項目名	○温室効果ガスの排出削減の推進
主な取組	地球温暖化対策事業		対応する成果指標	一人当たりの二酸化炭素排出量
施策の方向	・地球温暖化防止に向けて、産業部門、民生部門、運輸部門ごとの具体的な取組を促進するとともに、官公庁施設におけるエネルギーの効率的な利活用等を推進し、温室効果ガスの排出削減に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
関係機関と連携し、地球温暖化防止に関する各種事業を推進するとともに、県民への意識啓発を図る。温室効果ガスの排出実態及び各取組状況等を取りまとめ、温暖化対策の評価及び今後の施策展開を検討する。	県	第2次沖縄県地球温暖化対策実行計画の進捗管理		
		沖縄県地球温暖化対策実行計画協議会の開催数（累計）		
		3回	1回（4回）	1回（5回）
担当部課【連絡先】	環境部環境再生課 【 098-866-2064 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/kurashikankyo/kankyo/1004287/1018634/1004518/index.html

様式1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況

予算事業名	地球温暖化等対策事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	直接実施	3,438	4,476
令和6年度活動内容			
第2次沖縄県地球温暖化対策実行計画を推進し、進捗管理を行う。また、環境パネル展、県民環境フェア等の実施により普及啓発を行った。			

(単位：千円)

予算事業名	地球温暖化等対策事業		
R7年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	直接実施	19,851	
令和7年度活動計画			
第2次沖縄県地球温暖化対策実行計画を改定するとともに推進し、進捗管理を行う。また、環境パネル展、県民環境フェア等の実施により普及啓発を行う。			

活動指標名	沖縄県地球温暖化対策実行計画 協議会の開催数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	3回	1回	1回	1回（5回）	100.0%	順調	協議会を開催し、第2次沖縄県地球温暖化対策実行計画の進捗管理を実施した。また、県民環境フェアを開催するとともにラジオCMの放送、地球温暖化防止活動推進員を活用した啓発活動を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

協議会を目標値どおり開催し、第2次地球温暖化対策実行計画の進捗管理を実施した。また、沖縄県地球温暖化防止活動推進センター、おきなわアジェンダ21県民会議との協力・連携による効果的な普及啓発活動を実施したことで、地球温暖化対策への理解の向上に寄与したことから順調と判定した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○第2次沖縄県地球温暖化対策実行計画に基づき、幅広く情報収集を行いながら、緩和策と適応策を車の両輪として推進する。 ○地球温暖化防止活動推進員のスキルアップを図るとともに、普及啓発を実施する。	○第2次沖縄県地球温暖化対策実行計画に基づき、幅広く情報収集を行いながら、緩和策と適応策について進捗管理報告書を取りまとめた。 ○地球温暖化防止活動推進員の普及啓発活動の実践スキル向上を目的に、実践研修を行うとともに、推進員による地域住民等を対象とする普及啓発活動を行った。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
③ 他地域等との比較（内部要因）	地理・地形的に火力発電に頼らざるを得ない電源構成であること、民生部門、運輸部門の二酸化炭素排出割合が高いなど、他都道府県とは異なる本県の特徴を考慮した地球温暖化対策の検討・推進が求められる。	⑥ 変化に対応した取組の改善	第2次沖縄県地球温暖化対策実行計画改定作業の過程において幅広く情報収集を行い、国の動向も踏まえて緩和策と適応策を車の両輪として推進する。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-ア	脱炭素島しょ社会の実現に向けたエネルギー施策の推進	施 策	②脱炭素化に向けた取組の促進
			施策の小項目名	○産業部門の脱炭素化に向けた取組
主な取組	産業部門における省エネルギー対策の推進		対応する成果指標	一人当たりの二酸化炭素排出量
施策の方向	・産業部門については、製造業・建設業分野における省エネルギー対策の推進のため、太陽光発電の無償設置等に関するサービス「PPA（Power Purchase Agreement）モデル」や省エネ型機器の普及促進に向けた助言・指導等に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施 主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄県地球温暖化防止活動推進センターやおきなわアジェンダ21県民会議などの関係機関と連携し、産業部門の脱炭素化に向けた普及啓発イベントを行う。	県,民間	普及啓発イベントを通じた産業部門における省エネルギー対策の推進		
		普及啓発イベントの開催数(累計)		
		2回	2回(4回)	2回(6回)
担当部課【連絡先】	環境部環境再生課		【 098-866-2064 】	関連URL —

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

環境月間街頭キャンペーン等

主な財源

実施方法

R5年度
決算額

R6年度
決算見込額

県単等

直接実施

0

0

令和6年度活動内容

6月1日にサンエー那覇メインプレイスで実施した街頭キャンペーンなどの環境月間行事を通して、産業部門の省エネルギー対策等の普及啓発を行った。

予算事業名

—

主な財源

実施方法

R5年度
決算額

R6年度
決算見込額

—

—

0

0

令和6年度活動内容

11月10日にイオンモール沖縄ライカムで開催した県民環境フェアを通して、産業部門における省エネルギー対策等の普及啓発を行った。

(単位：千円)

予算事業名

環境月間街頭キャンペーン等

R7年度

主な財源

実施方法

当初予算額

県単等

直接実施

17

令和7年度活動計画

街頭キャンペーンなどの環境月間行事を通して、産業部門の省エネルギー対策等の普及啓発を行う。

予算事業名

—

R7年度

主な財源

実施方法

当初予算額

—

—

令和7年度活動計画

県民環境フェアを通して、産業部門における省エネルギー対策等の普及啓発を行う。

活動指標名

普及啓発イベントの開催数（累計）

R6年度

R4年度

R5年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

進捗状況

活動概要

実績値

2回

2回

2回

2回（6回）

100.0%

順調

街頭キャンペーン（参加者：223名）などの環境月間行事及び県民環境フェア（参加者：3,933名）において産業部門における省エネルギー対策等の普及啓発を行った。

5

様式 1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
街頭キャンペーン（参加者：223名）などの環境月間行事及び県民環境フェア（参加者：3,933名）において、産業部門における省エネルギー対策等の普及啓発を行っており、活動指標の目標値を達成し、産業部門における二酸化炭素排出量の削減に寄与したことから、順調と判定した。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
○デコ活の趣旨を踏まえ、沖縄県地球温暖化防止活動推進センターやおきなわアジェンダ21県民会議などの関係機関と連携した普及啓発を推進する。 ○デコ活の趣旨を踏まえ、令和4年度に立ち上げた「沖縄県気候変動適応情報」ウェブサイトにおける緩和策の情報発信の充実を図る。	○沖縄県地球温暖化防止活動推進センターやおきなわアジェンダ21県民会議と連携して街頭キャンペーンなどの環境月間行事及び環境フェアにおいて普及啓発活動をした。 ○沖縄県の気候変動に関する情報収集・発信するため、「沖縄県気候変動適応情報」のウェブサイトですべて普及啓発を行った。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	沖縄県気候変動適応センターを令和6年度に設置したことから、「沖縄県気候変動適応センター」ウェブサイトにおいても緩和策の情報発信を行う必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	デコ活の趣旨を踏まえ、令和4年度に立ち上げた「沖縄県気候変動適応センター」ウェブサイトにおける緩和策の情報発信の充実を図る。
④ 社会・経済情勢の変化 (外部環境の変化)	国が中心となって推進しているデコ活（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）の趣旨を踏まえつつ、普及啓発を推進する必要がある。	② 連携の強化・改善	デコ活の趣旨を踏まえ、沖縄県地球温暖化防止活動推進センターやおきなわアジェンダ21県民会議などの関係機関と連携した普及啓発を推進する。

「主な取組」 検証票

施策展開	1-(1)-ア	脱炭素島しょ社会の実現に向けたエネルギー施策の推進	施 策	②脱炭素化に向けた取組の促進
			施策の小項目名	○民生部門の脱炭素化に向けた取組
主な取組	民生部門における普及啓発活動		対応する成果指標	一人当たりの二酸化炭素排出量
施策の方向	・ 民生部門については、建物の断熱性能等の向上、高効率設備システムの導入、PPAを含む再生可能エネルギー導入等により、年間一次エネルギー消費量収支ゼロを目指した建物（ZEH・ZEB）の普及促進等に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄県地球温暖化防止活動推進センターとの連携や沖縄県地球温暖化防止活動推進員の活動促進を図り、民生部門の脱炭素化に向けた普及啓発を図る。	県,民間	沖縄県地球温暖化防止活動推進センターや沖縄県地球温暖化防止活動推進員等による普及啓発活動の推進		
		普及啓発活動の実施回数(累計)		
		50回	50回(100回)	50回(150回)
担当部課【連絡先】	環境部環境再生課		【 098-866-2064 】	関連URL
				—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名	地球温暖化防止活動促進事業			
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	
県単等	補助	1,745	1,500	
令和6年度活動内容				
沖縄県地球温暖化防止活動推進センターと連携し、民生部門の脱炭素化に向けた普及啓発を実施した。（活動実績：11件）				
予算事業名	地球温暖化防止活動推進員活用促進委託業務			
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	
県単等	委託	1,745	1,924	
令和6年度活動内容				
沖縄県地球温暖化防止活動推進員への研修や活動支援等により、同推進員による民生部門の脱炭素化に向けた普及啓発を促進した。（活動実績：50回）				

(単位：千円)

予算事業名	地球温暖化防止活動促進事業		
R7年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	補助	1,500	
令和7年度活動計画			
沖縄県地球温暖化防止活動推進センターと連携し、民生部門の脱炭素化に向けた普及啓発を実施する。			
予算事業名	地球温暖化防止活動推進員活用促進委託業務		
R7年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	委託	1,892	
令和7年度活動計画			
沖縄県地球温暖化防止活動推進員への研修や活動支援等により、同推進員による民生部門の脱炭素化に向けた普及啓発を促進する。			

活動指標名	普及啓発活動の実施回数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	60回	60回	91回	50回（150回）	100.0%	順調	沖縄県地球温暖化防止活動推進センターとの連携や沖縄県地球温暖化防止活動推進員の活動促進を図り、民生部門における脱炭素化に向けた普及啓発を行った。（活動実績：91回）

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
沖縄県地球温暖化防止活動推進センターとの連携や沖縄県地球温暖化防止活動推進員の活動促進を図り、民生部門における脱炭素化に向けた普及啓発を行っており、（活動実績：91件）、活動指標の目標値を達成し、民生部門における二酸化炭素排出量の削減に寄与したことから、順調と判定した。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
○デコ活の趣旨を踏まえ、沖縄県地球温暖化防止活動推進センターや沖縄県地球温暖化防止活動推進員などと連携した普及啓発を推進する。 ○デコ活の趣旨を踏まえ、「沖縄県の気候変動適応情報」ウェブサイトにおける緩和策や適応策の情報発信の充実を図る。	○沖縄県地球温暖化防止活動推進センターや沖縄県地球温暖化防止活動推進員などと連携して出前講座等の普及啓発を行った。 ○「沖縄県の気候変動適応情報」ウェブサイトにおいて気候変動に係る情報発信を行った。

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化（外部環境の変化）	国が中心となって推進しているデコ活の趣旨を踏まえつつ、普及啓発を推進する必要がある。	② 連携の強化・改善	デコ活の趣旨を踏まえ、沖縄県地球温暖化防止活動推進センターや沖縄県地球温暖化防止活動推進員などと連携した普及啓発を推進する。
② 他の実施主体の状況（内部要因）	デコ活の趣旨を踏まえ、「沖縄県の気候変動適応情報」ウェブサイトにおける緩和策や適応策の情報発信の充実を図る。	⑤ 情報発信等の強化・改善	デコ活の趣旨を踏まえ、「沖縄県の気候変動適応情報」ウェブサイトにおける緩和策や適応策の情報発信の充実を図る。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-ア	脱炭素島しょ社会の実現に向けたエネルギー施策の推進	施 策	②脱炭素化に向けた取組の促進
			施策の小項目名	○気候変動適応策の総合的かつ計画的な推進
主な取組	気候変動適応策推進業務		対応する成果指標	一人当たりの二酸化炭素排出量
施策の方向	・気候変動によって現在生じている影響及び将来予測される被害の防止・軽減を図るため、防災、健康被害の予防、農林水産業の対策支援、生物多様性の保全など、あらゆる観点から気候変動適応策を推進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄県気候変動適応計画に基づく適応策を推進するとともに、適応策に関する普及啓発を図る。また、気候変動影響を把握・予測・分析し、適応策を推進するため、適応策に係る協議会等へ参加し、情報収集を行う。	県	気候変動影響を把握・予測・分析し、適応策を推進するための情報収集		
		適応策に係る協議会等への参加・開催数(累計)		
		2回	2回(4回)	2回(6回)
担当部課【連絡先】	環境部環境再生課		【 098-866-2064 】	関連URL
				—

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名	脱炭素型ライフスタイル普及啓発事業			
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	
県単等	委託		8,879	
令和6年度活動内容				
気候変動に係る普及啓発イベント及び出前講座のほか、県民向けラジオ広告を実施した。また令和4年度に作成したホームページによる普及啓発を行った。				
予算事業名	脱炭素型ライフスタイル普及啓発事業			
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	
県単等	その他		95	
令和6年度活動内容				
国が主催する気候変動適応広域協議会や沖縄県気候情報連絡会等へ出席した。また、沖縄県気候変動適応計画に基づく適応策を推進した。				

(単位：千円)

予算事業名	気候変動適応策推進委託業務等		
R7年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	委託	7,156	
令和7年度活動計画			
気候変動に係る県民向け普及啓発イベント、出前講座及びラジオ広告を実施する。また令和4年度に作成したホームページによる普及啓発を行う。			
予算事業名	気候変動適応策推進委託業務等		
R7年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	その他	7,156	
令和7年度活動計画			
国が主催する気候変動適応広域協議会や沖縄県気候情報連絡会等へ出席する。また、沖縄県気候変動適応計画に基づく適応策を推進する。			

活動指標名	適応策に係る協議会等への参加・開催数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
	R4年度	R5年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	6回	7回	6回	2回（6回）	100.0%	順調	国が主催する関連会議へ出席して情報収集を行った。また、沖縄県気候変動適応計画に基づく適応策を推進し、気候変動に係る普及啓発を行った。

様式 1 （主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
国が主催する気候変動適応広域協議会（2回）、分科会（1回）及び沖縄県気候情報連絡会（1回）及び気候変動適応センター定例会議（2回）へ出席した。（計6回）また、沖縄県気候変動適応計画に基づき、適応策の進捗管理を行ったほか、普及啓発イベントや出前講座等によって気候変動に係る普及啓発を行った。については、活動指標の目標値を達成し、気候変動適応策の総合的かつ計画的な推進に寄与したことから、順調と判定した。	
（2）これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
○有識者や関係者から各分野ごとに必要な助言を受ける体制を構築するなど、連携の強化を行う。 ○沖縄県気候変動適応計画の進捗管理を行いながら、同計画の中間見直し時期等において更なる対策の強化を図ることができるよう、引続き国が主催する関連会議へ出席して情報収集を行う。 ○デコ活の趣旨を踏まえ、令和4年度に立ち上げた「沖縄県の気候変動適応情報」のウェブサイトにおける適応策の情報発信の充実を図る。	○令和6年12月25日に沖縄県気候変動適応センターを設置し、有識者や各分野ごとに必要な助言を受ける体制を構築した。 ○沖縄県気候変動適応計画の進捗管理を行うとともに、国が主催する関連会議へ出席して各分野の関係者と情報収集を行った。 ○「沖縄県気候変動適応情報」ウェブサイトにおいて、適応策についての情報発信を行った。

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	令和6年度に設置した沖縄県気候変動適応センターにおいて、適応策に係る情報発信等を行う必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	「沖縄県気候変動適応センター」のウェブサイトにおける適応策の情報発信の充実を図る。
④ 社会・経済情勢の変化（外部環境の変化）	沖縄県気候変動適応計画（令和3年3月）の策定後、国において「気候変動適応計画」や「気候変動適応に関する広域アクションプラン」が策定されており、これらを踏まえ適応策の推進強化を図る必要がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	沖縄県気候変動適応計画の進捗管理を行いながら、令和7年度は同計画の中間見直し時期にあたることから、更なる対策の強化を図ることができるよう、引続き国が主催する関連会議へ出席して情報収集を行う。

「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-ア	脱炭素島しょ社会の実現に向けたエネルギー施策の推進	施 策	③二酸化炭素の吸収源対策の推進
			施策の小項目名	○沖縄県CO ₂ 吸収量認証制度の推進
主な取組	沖縄県CO ₂ 吸収量認証制度の普及啓発		対応する成果指標	県が認証した二酸化炭素吸収量（累計）
施策の方向	・吸収源対策については、緑化活動によって育まれる森林や植栽地の二酸化炭素吸収量を本県が認証する「沖縄県CO ₂ 吸収量認証制度」を推進するとともに、県民、企業、市町村、関係団体など多様な主体によるカーボンオフセットの活用を促進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
緑化活動によって育まれる森林や植栽地の二酸化炭素吸収量を県が認証する「沖縄県CO ₂ 吸収量認証制度」の普及啓発を行う。	県,市町村,企業等	緑化活動によるCO ₂ 吸収量の認証制度の普及啓発		
		CO ₂ 吸収量認証の件数(累計)		
		2件(25件)	2件(27件)	2件(29件)
担当部課【連絡先】	環境部環境再生課	【 098-866-2064 】	関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/saisei/ryokuka/co2.html

2 取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況

（単位：千円）

予算事業名	沖縄県CO2吸収量認証制度			
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	
県単等	委託	1,947	1,958	

令和6年度活動内容
制度説明会を1回開催し普及啓発に取り組んだ。また、CO2吸収量審査会を開催し、緑化活動によるCO2吸収量を認証した。

予算事業名	沖縄県CO2吸収量認証制度		
R7年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	委託	2,083	

令和7年度活動計画
制度説明会を1回開催し普及啓発に取り組む。また、CO2吸収量審査会を開催し、緑化活動によるCO2吸収量を認証する。

活動指標名	CO ₂ 吸収量認証の件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値（A）	目標値（B）	達成割合 A/B		
	4件（27件）	5件（32件）	2件（34件）	2件（29件）	100.0%		

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和6年度は目標値2件に対して実績値が2件であったため、「順調」と判定した。 令和6年度に開催した制度説明会には24団体が参加し、当制度の普及啓発が図られた。
--

（2）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○沖縄県CO2吸収量認証制度を広く活用してもらうために、制度説明会等を通じて周知を図っていく。	本制度の説明会を7月12日に、対面とオンライン形式の2回に分けて開催した。また、参加できなかった方に向けては本制度の概要が記載されたリーフレットを県HPで公開し、広く周知した。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	企業等において二酸化炭素の吸収源対策やカーボン・オフセットに関する意識が高まっていることから、制度の周知を徹底し、認証数をさらに増やすことができると考えられる。	⑤ 情報発信等の強化・改善	沖縄県CO2吸収量認証制度を広く活用してもらうために、引き続き制度説明会等を通じて周知を図っていく。加えて、県緑化担当者会議や市町村の緑化事業担当者向けの説明会においても本制度の周知を図る。

「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-ア	脱炭素島しょ社会の実現に向けたエネルギー施策の推進	施 策	③二酸化炭素の吸収源対策の推進
			施策の小項目名	〇吸収源対策に係る取組
主な取組	ブルーカーボンに関する情報収集		対応する成果指標	県が認証した二酸化炭素吸収量（累計）
施策の方向	・循環型林業を推進し、森林整備による森林の炭素固定能力の向上や木材利用促進による吸収源対策に努めるとともに、環境保全型農業の推進による農地土壌における吸収源対策、海域等のブルーカーボンに関する知見の蓄積など、各種吸収源対策に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
ブルーカーボンに係る国際動向や先進事例等の情報収集を実施する。	県	ブルーカーボンに係る国際動向、先進事例等の情報収集		
		情報収集結果の整理・公表件数（累計）		
		1件	1件（2件）	1件（3件）
担当部課【連絡先】	環境部環境再生課【 098-866-2064 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/kurashikankyo/kankyo/1004287/1018634/1026598.html

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名	—		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
—	—		
令和6年度活動内容			
引き続きブルーカーボンに係る情報収集を行うとともに、その結果を整理し、沖縄県のホームページ上で公表する。			

(単位：千円)

予算事業名	—		
R7年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
—	—		
令和7年度活動計画			
引き続きブルーカーボンに係る情報収集を行うとともに、その結果を整理し、沖縄県のホームページ上で公表する。			

活動指標名	情報収集結果の整理・公表件数 (累計)		R6年度			進捗状況	活動概要
	R4年度	R5年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	1件	1件	1件	1件 (3件)	100.0%	順調	ブルーカーボンに係る情報収集を行い、ブルーカーボン及びブルーカーボン生態系の特徴、ブルーカーボンによる吸収量、県内の取組事例、ブルーカーボン生態系の保全について整理し、沖縄県のホームページに掲載した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

ブルーカーボンに係る情報収集を行うとともに、その結果を整理し、沖縄県のホームページ上で公表したため、順調と判定した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
引き続き情報収集を行い、収集した情報を整理し、沖縄県ホームページ内のブルーカーボンのページに掲載し、情報発信していく。	収集した情報を整理・分類し、県民に分かりやすいよう沖縄県のホームページ上で公表した。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑥ 他地域等の動向 （外部環境の変化）	収集した情報を整理・分類し、県民に分かりやすいよう沖縄県のホームページ上で公表した。	⑥ 変化に対応した取組の改善	引き続き情報収集を行い、収集した情報を整理し、沖縄県ホームページ内のブルーカーボンのページに掲載し、情報発信していく。